

公益社団法人立川市シルバー人材センター 平成31年度事業報告

I 平成31年度の運営概況

平成31年度の運営方針

「第2次中期事業計画の着実な達成に向け 事業の拡大と地域貢献に取り組むシルバー人材センター」

立川市シルバー人材センターの平成31年度は、第2次中期事業計画の中間年度を迎え、計画で掲げた課題の解決と数値目標の達成に向け、「普及啓発と会員増強」、「シルバー人材センター等労働者派遣事業など事業の拡大と適正就業の確保」、「地域貢献活動の促進」、「安全対策基本計画及び安全就業基準の遵守に基づく就業中並びに就業途上における安全確保」、「第2次中期事業計画の進捗状況の確認と今後の取り組みの検討」の5項目を活動目標に掲げ、さまざまな課題への取り組み、新たな施策の検討・実施を進めてまいりました。

具体的な活動内容は、「II 事業活動報告」に詳しく記載しておりますが、センターの事業の拡大のために最も重要な施策である「会員増強」について、会員増強キャンペーンや会員増強強化月間の実施、入会案内パンフレットの市内全域配布や新聞折り込み・ポスターの掲出、市役所でのCM放映、市広報やホームページを通じた入会案内、入会説明会の開催、就業体験講習の実施など、会員増に向けた取り組みを行いました。また、「事業の拡大」においては、市立小学校のトイレ清掃の受託拡大、清掃作業の新規受託などを実現しました。しかしながら、一部受託契約の終了や収益事業である葬祭事業の実績減、また年度末の新型コロナウイルス感染拡大防止対応での施設の休館や就業時間短縮などが影響し、年度契約金額は322万余円の減額となりました。

一方で、安全就業においては、昨年度に続き事故件数減を目指し、転倒予防講習や交通安全講習会、AED操作講習会などを通じて安全就業・事故防止啓発を進めるとともに、東京都の条例改正に対応した自転車損害賠償保険加入促進に努めてまいりました。

その結果、

請負契約高	9億2,295万余円	前年度比	0.3%減	322万余円減
派遣契約高	409万余円	前年度比		197万余円増
請負就業実人員	1,181人	前年度比		6人増
派遣就業実人員	17人	前年度比		1人増
全体就業率	79.6%	前年度比		1.8ポイント増
会員数	1,501人	前年度比		14名減
傷害及び賠償責任事故	14件	前年度比		3件増

となり、契約金額は引き続き9億円を超えましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のための管理業務の休止・時間短縮の影響もあり、若干前年度を下回る成績となり、また会員数は4年連続での減少となりました。一方、事故件数は賠償責任事故が前年度より3件増加しましたが、傷害事故は前年度同数で推移しており、安全管理推進委員会において事故防止策を検討し、引き続き一層の事故減少に取り組んでいく所存です。

最後に、31年度は、年度末に新型コロナウイルス感染拡大により、その対応として公共施設などの休館・利用制限等が実施されました。会員の就業にも大きな影響を及ぼしており、また令和2年度も継続してセンターの運営・会員の就業に影響を及ぼし続けているところです。

このような状況のもとではありますが、役員及び事務局では、会員数減少を止めるべく、女性会員の就業の場の拡大や会員増強などへの取り組みを強化していくとともに、事業の拡大や安全就業の徹底に取り組んでいく所存です。引き続き会員の皆様のご理解ご協力をお願いいたします。

以下、活動計画の項目別にその活動概要を報告いたします。

II 事業活動報告

1 普及啓発と会員増強

(1) ホームページ等による情報発信の充実

ホームページ上での「お知らせ」、「シルバーたちかわ通信」や「働く方募集情報」などを通じて、センターの活動や就業情報の発信頻度を高めるなど、情報発信の充実に努めました。また、立川市役所待合ロビーでの行政情報放映画面でセンター紹介のCM放映を10月より実施しました。

(2) 普及啓発活動月間の実施

10月から11月を普及啓発活動月間に設定し、入会案内パンフレットの市内全域配布、地区別入会説明会の開催、たちかわ楽市でのPRグッズの配布などセンター事業の紹介に努め、会員増強の一助としました。

(3) 入会案内パンフレットの市内全域配布、新聞折り込みの実施

普及啓発活動月間や会員増強強化月間に合わせ、入会案内パンフレットの市内全域配布を年3回実施するとともに、新たに入会案内・会員募集リーフレットの新聞折り込みを9月と1月の2回実施しました。

(3) 入会説明会の開催

入会説明会について、会場を本部事務所及び女性総合センター・AIMとし、毎月2回開催するとともに、普及啓発活動月間・会員増強強化月間に合わせて地区別開催を実施し、会員増強の一助としました。

毎月開催	本部事務所	13回
	女性総合センター・AIM	14回
地区別開催	学習館等	6回

(4) 市広報への記事掲載

立川市広報課にご協力いただき、市広報「たちかわ」に入会説明会日程、就業体験講習や「憩いのサロン」開催案内の記事を掲載しました。

(5) 会員増強キャンペーン、会員増強強化月間の実施

会員増強のため、2月に会員増強強化月間・会員増強キャンペーンを実施し、入会案内パンフレットの市内全域配布、入会説明会の開催回数増、会報やリーフレットを通じた会員へのロコミ協力依頼などに取り組みました。

(6) その他の普及啓発活動

- ① 市民マップ(令和2年3月作製)への広告掲載
- ② 市営葬儀説明会を毎月1回斎場で開催したほか、学習館等を利用し出張説明会を開催しました。また、立川市老人クラブ連合会を通じて市営葬儀紹介を実施しました。
- ③ 東京都シルバー人材センター連合(公益財団法人東京しごと財団)の助成事業である「就業体験講習」により、センター未入会者を対象として、本部事務所を会場とした保育補助講習を開催し、事業紹介・入会案内の一助としました。また、植木剪定作業就業会員の増強を目的にセンター独自で就業体験講習「植木の剪定」を開催しました。
- ④ 高齢者の交流と居場所づくり、センター事業の紹介などを目的に、「憩いのサロン」を開設しました。

4/23	スマホ教室(初心者編)	5/31	蓮のデコレーション
7/4	金魚のモビール	10/18	和紙カードケース
10/29～	健康麻雀教室(全4回)	11/13	クリスマス・リース
11/15	落語公演	12/13	正月飾り
2/12	フラワーボールペン	2/18	スマホ教室(初級編)

2 「シルバー人材センター等労働者派遣事業」など就業機会の開拓・確保と適正就業の確保

(1) 新規受託の開拓・確保・情報収集・調査研究

ホームページに「働く方募集情報」を掲載するとともに、役職員が出席する研修や会議を通じ就業機会の開拓・確保のための情報収集や高齢者に適した仕事の開拓に向けた調査研究を行いました。

また、女性会員増強の取り組みのため、施設管理業務における女性会員の就業機会拡大を図ることとしたほか、小学校のトイレ清掃の受注拡大など令和2年度に向けた取り組みも進めました。

(2) 保育補助業務を中心に会員増強や人材育成に基づく「シルバー人材センター等労働者派遣事業」の積極的受注

保育園における保育補助業務や調理補助業務への派遣を維持するとともに、イベントでの案内業務への派遣も行いました。

また、従来の請負業務のうち業務内容を考慮し、派遣事業への転換を発注者と協議するなど派遣事業の受注に努めました。

(3) 職群班の自主的就業体制の充実

職群班会議に役職員が随時出席し、自主的な就業管理体制の充実を図るとともに、班組織の強化のため職群班班長への費用弁償の支給と役割の明確化について検討し、費用弁償支給の令和2年度からの導入を決定しました。

(4) 未就業会員の現況把握と就業情報の発信

未就業会員を対象としたアンケート調査を実施し、健康状態・就業の可否などを把握し、会員への就業提供の一助としました。

対象者 299 名 回答者 178 名(男性 123 名・女性 55 名) 回収率 59.5%

(5) 未就業会員対象の相談窓口の設置

毎月の総合相談窓口で就業相談に応じるとともに、未就業会員アンケート回答者のうち相談要望者を対象に3月に臨時就業相談を実施し、29名の希望者に対応しました。

(6) 適正就業の確保

東京都シルバー人材センター連合(公益財団法人東京しごと財団)の適正就業指導の結果に基づき、契約書類等の内容修正などに取り組むとともに、新規受託や受託職場においては職場環境・契約内容の確認などを行い、適正な請負契約の確保に努めました。

(7) 会員研修の実施

会員の就業に対する知識・技能の習得及び向上、安全意識の啓発などを目的に、職群班単位等で研修を実施しました。

(8) 人材の確保・育成のための就業体験講習の実施

派遣事業の拡大や人材不足職種への対応のため、7月には公益財団法人東京しごと財団主催の就業体験講習で、3月にはセンター主催により体験講習「植木の剪定」を開催し、就業人員の確保に努めました。

(9) 就業環境整備のための防寒着等の配付

平成31年度に新たに就業した会員及び「小学校低学年児童下校時通学路安全見守り活動」に参加した会員を対象に、センターマーク入りの防寒着等を前年度同様に配付し、冬季の健康維持・感染症予防の一助としました。

3 地域貢献活動の促進

(1) 「小学校低学年児童下校時通学路安全見守り活動」の推進

地域貢献活動の一層の促進のため、引き続き多くの会員の参加協力のもと、市立全小学校で低学年児童の下校時の安全見守り活動を実施しました。

参加協力会員の拡大のため、就業期限更新時には、未参加就業会員への啓発のため参加要請の文書を送付するとともに、職群班班長に対し所属会員への活動参加の呼びかけを依頼しました。

また、見守り活動の今後のあり方等について検討を進め、参加会員の減少や高齢化への対応策として、参加状況に合わせた活動形態の見直し、新入会員や未参加会員への呼びかけについて施策をまとめ、令和2年度の実施に向けて準備を進めました。

(2) その他の地域貢献活動

ファーマーズクラブが農業支援活動及び地域の保育園の芋ほり会への協力を行いました。また、各地域班において、清掃活動、防災・防犯パトロール、自治会や福祉施設などの催事など地域活動への協力も行いました。

4 安全対策基本計画及び安全就業基準の遵守に基づく就業中並びに就業途上の安全確保

(1) 安全就業強調月間の設定

① 安全就業強調月間の設定

7月及び12月を「安全就業強調月間」に設定し、職群班・地域班を通じて月間事故0を目指した呼びかけを行うとともに、安全管理推進委員会委員が職場を訪問し、安全チェック表に基づく職場の安全環境の確認を行いました。

② 安全管理推進委員会委員による職場訪問

会員の安全意識の啓発と職場環境の確認を目的に、安全就業強調月間中に委員による職場巡回を実施しました。巡回時に各職場から聞き取った安全対策や職場環境に関する意見・要望は、安全管理推進委員会及び理事会で報告し、改善等に取り組みました。

(2) 安全関係研修の充実

① 交通安全講習会の開催

交通安全に対する意識を高めるため、立川警察署交通課交通総務係係官等を招き、「自転車の安全走行」に関する講義を行いました。また、安全管理推進委員会委員長より過去5カ年の事故発生状況をふまえた注意喚起が行われました。

7月19日 女性総合センター・アム 参加人数 125名

② AED操作講習会の開催

警備会社に委託し、管理業務就業会員を対象にAEDの操作方法を確認する講習会を開催しました。

2月21日 本部事務所2階会議室 参加人数 26名

③ 関係機関主催の安全就業に関する会議・研修への参加

第6ブロック安全就業推進員連絡会で、安全就業に関する情報収集や調査研究を行うとともに、東京都シルバー人材センター連合等が主催する安全研修や会議に安全担当理事や安全管理推進委員会委員が参加しました。

(3) 安全管理体制の強化

安全管理推進委員会において事故発生状況や発生傾向を分析し、事故防止に活用するとともに、当センターの安全対策や安全管理体制の確認のため、東京都シルバー人材センター連合(公益財団法人東京しごと財団)の安全就業パトロール指導員の巡回指導を受けました。

(4) 安全啓発グッズの配布

就業会員や「小学校低学年児童下校時通学路安全見守り活動」参加協力会員に対し、夏季には熱中症予防のネッククーラーを、冬季には感染症予防のマスクと防寒・転倒防止グッズを、職群班や地域班を通じ配布しました。

(5) 安全標語の募集

安全意識の高揚を目的に令和2年度の安全標語の募集を行いました。募集の結果、会員43名から176点の応募があり、安全管理推進委員会で選考の結果、最優秀作品1点、優秀作品2点、佳作3点を決定し、東京都シルバー人材センター連合(公益財団法人東京しごと財団)の安全標語選考に応募しました。

(6) 健康診査受診の奨励、就業会員の就業期限更新時の健康チェックの啓発

会員自身による健康管理の奨励のため、診査受診を呼びかけるとともに、就業期限更新時に健康チェック表を同封し、健康面での自己管理を呼びかけました。

(7) 自転車事故に対応する賠償保険加入の奨励

東京都の条例改正に対応するため、会報や地域班を通じて自転車損害賠償保険(個人賠償責任保険)への加入を呼びかけました。

5 第2次中期事業計画の進捗状況の確認と今後の取り組みの検討

第2次中期事業計画の中間年度を迎え、経営会議では、計画に挙げられた課題への取り組み状況を確認するとともに、数値目標等に関わって直面する課題の解決に向け、理事会・総務部会・事業部会・広報部会及び安全管理推進委員会に検討項目を提示しました。

理事会及び各部会・委員会では、会員増強、事業の拡大、普及啓発、地域貢献活動、安全就業に関する課題の検討を行い、女性会員の就業の場の拡大や会費減免制度の導入、見守り活動の今後のあり方などに関して、具体的な取り組みをまとめ、計画期間後半の取り組み指針を明らかにしました。

また、施設の有効利用や経年劣化への対応として、家事援助サービス事業の拠点を羽衣ワークセンターへ、パソコン班の拠点を本部事務所に移動するとともに、本部事務所の空調設備交換等に必要な経費の積立を行いました。

Ⅲ 組織活動

1 理事会

経営会議、総務部会・事業部会・広報部会をはじめ、安全管理推進委員会や就業決定会議等の活動を推進するとともに、理事会・事務局の緊密な連携のもと、活動計画を実施し、目標の達成に努めました。

(1) 経営会議

代表理事・業務執行理事による経営会議を開催し、適正な運営と執行管理に取り組み、定款の定めに基づき年2回、理事会に対し職務執行に関する報告を行いました。また、必要に応じて総務・事業・広報の各部会長の出席を求め、事業の進捗状況の確認や施策の検討などを行いました。

(2) 総務部会

「小学校低学年児童下校時通学路安全見守り活動」を主とする地域貢献活動の円滑な実施と参加協力会員の拡大に向けた取り組みを進めるとともに、入会説明会・新入会員研修会の内容充実、総合相談窓口の充実に努めました。

(3) 事業部会

就業開拓・開発・提供担当職員と緊密に連携し、就業開拓、未就業会員の現況把握・相談対応、職群班の自主的就業体制の充実、適正就業の確保などに取り組みました。

(4) 広報部会

センターの普及啓発と会員増強のための施策を検討し、普及啓発活動月間・会員増強強化月間の設定や入会案内パンフレット等の市内全域配布・新聞折り込みの実施、市広報への定期的な入会説明会日程等の掲載、会報の発行などに取り組みました。

2 地域班活動

地域班班長会議の開催などを通じ、総務部会・事務局と緊密に連携して、地域会員の相互交流の推進と「小学校低学年児童下校時通学路安全見守り活動」などの地域に根ざした「地域貢献活動」の実施に取り組みました。

3 職群班活動

お客様からの信用・信頼を維持するため、「共働・共助」の理念に基づく自主的就業管理体制の充実とともに、事業部会と緊密に連携し、適正就業の確保、研修の充実、安全就業の徹底に取り組みました。

4 委員会活動

会報編集委員会を設置し、会員への情報提供・運営状況報告などを目的とした会報「シルバーだより」を年4回(4、7、12、1月)発行しました。

5 会員の福利厚生活動

会員の健康管理・安全確保を目的に、安全管理推進委員会と連携して、熱中症予防・感染症予防のグッズや防寒着を配布するとともに、東京都シルバー人材センター連合を通じて配布された埼玉西武ライオンズ野球観戦招待券を配布しました。また、会員の自主的福利厚生・親睦交流団体である会員互助会の運営の支援のため、30年度収益の一部を会員互助会への助成に充てました。